

## 第14回 障害者の情報・コミュニケーションに関する協議会 議 事 概 要

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年3月11日（金）付で書面会議を行った。  
委員から提出された意見等は以下のとおり。

### ○議 事

#### (1) 障害者の情報取得及びコミュニケーションに関する施策について 令和2年度の実施報告（案）

No.	委員意見等	事務局より
1	<p>コロナ禍では生命の維持が真っ先に問われる時であるので、人を介しての各支援充実が減少したのは皆も理解しているところです。</p>	<p>コロナ禍が一日でも早く収束することを願います。</p>
2	<p>新型コロナウイルスの影響により、十分に努力していただいているにもかかわらず、講習会や市民への啓発が中止になっていることが多い点が残念に思います。</p> <p>「コミュニケーション」についての施策を考える協議会でもありますので、日常についての議論のみならず、こういった有事の対応も充実させていくように意見が交わされるとよいと思います。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、今後の協議会の在り方についても検討していく必要があると思っています。今後、協議会で委員とともに検討していければと思います。</p>
3	<p>1イ支援者の派遣について、どういう派遣回数の内訳、どういう内容が多いかわかるように、書くとうよいと思う。</p>	<p>次回報告書から反映させていただきます。</p>
4	<p>2ア手話通訳者・要約筆記者の配置について、項目の「行事数」は何を指しているか。</p>	<p>主に式典や講演会等を指しています。</p>
5	<p>受講者数は修了人数でしょうか。開始人数・修了人数がわかると、参加者の状況を把握しやすいと思います。それぞれの大きな数字（コロナで短時間開催になった、欠席が多かった、受講生が積極的だった等）があると、状況がわかりやすいです。</p>	<p>記載の数字は、受講者数になります。受講者数・修了者数の併記は次回報告書から反映させていただきます。また、短時間開催になった等がありましたら必要に応じて記載していきたいと思います。</p>

	また、人数だけでは、どのような状況なのかよくわかりません。	
--	-------------------------------	--

(2) 障害者の情報取得及びコミュニケーションに関する施策について  
令和3年度の概要(案)

No.	委員意見等	事務局より
6	失語症者への意思疎通支援を市が確実に繋げていこうとする動きに期待しています。	本養成及び派遣事業については、実施主体が神奈川県であり、神奈川県のホームページでも周知されていますが、今後は、本市からも積極的に周知していきたいと思えます。
7	1ア⑤失語症者向け意思疎通支援者養成講習会の受講者数が0になっているのは、新たな事業であるために予測が立たなかったからでしょうか。	本養成講習会は、神奈川県が令和元年度から実施しています。本市は、令和3年度からその経費の一部を負担しています。令和3年度は、横須賀市からの受講希望者がいなかったと報告を受けています。
8	3ア広報よこすかの送付部数が令和2年度に比べて大きく減少しているのは、何か理由があるのでしょうか。	資料の掲載が間違っていました。 令和3年2月28日時点での送付総数(部)は、録音版153部、点字版851部です。
9	失語症者向け意思疎通支援者の養成及び派遣事業については、2月末現在、派遣利用者は0となっているものの、ニーズは高いと思われる。広報よこすか等を通じ、事業PRを進めてほしいと思えます。	本養成及び派遣事業については、実施主体が神奈川県であり、神奈川県のホームページでも周知されていますが、今後は、本市からも積極的に周知していきたいと思えます。
10	受講者数は修了人数でしょうか。開始人数・修了人数がわかると、参加者の状況を把握しやすいと思えます。それぞれの大きな数字(コロナで短時間開催になった、欠席が多かった、受講生が積極的だった等)があると、状況がわかりやすいです。 また、人数だけでは、どのような状況な	記載の数字は、受講者数になります。受講者数・修了者数の併記は次回報告書から反映させていただきます。また、短時間開催になった等がありましたら必要に応じて記載していきたいと思えます。

	のかよくわかりません。	
--	-------------	--

### (3) その他

No.	委員意見等
11	災害時の冊子を各部署へ配布されることをよろしく申し上げます。配布された部署の方がしっかり受け止め、災害時に行動してほしいと思います。私もこの冊子を通じてより一層学びます。
12	冊子をただ配布するだけでなく、協議会として、冊子の内容を話し合う場を設けるなどしてはどうか。出前トークでもよいし、対象は協議会委員の所属団体関係者から始めてもよいと思います。本当は対象を絞らず、大勢を集められたら良いのですが、コロナのことがあるので、まだ無理かなと思っています。
11	大きな地震や新型コロナウイルス感染症の発生などもあるので、一日も早く冊子を完成し配布していただきたいと思います。
12	当協議会の作成したガイドブックが地域の方々に読まれること、組織活動での各種活動計画や活動用資料に生かされること、そのうえで不足について提起されることについて、期待しています。
13	「障害のある方を理解するためのガイドブック2」については、障害を持たない市民にもわかりやすく読みやすいガイドブックになったと思います。 配布だけでなく、横須賀市WEBサイトからもダウンロード可能とするとともに、セミナー等の開催による普及も検討ください。
14	コロナ禍で仕方ないとは思いますが、書面決裁では状況把握がしにくいと感じます。協議会名に“コミュニケーション”と入っていますが、書面決裁では委員同士のコミュニケーションも取りにくいです。

→いただいたご意見等は、今後の障害者施策推進の参考とさせていただきます。